

# つながろう！！全国研

第58回＊全国学童保育研集会実行委員会 広報チーム発行  
第58回最終号！



全国研特設HP



第59回全国研は岡山県での開催です！



岡山で待ちよーるけん、絶対に来られ～よ♪

出雲井 唐志隆（岡山県・指導員）

今回、私が東京の会場に行くことになったきっかけは、岡山の指導員の先生方の「出雲井くんも東京行ってみない？」という言葉でした。「全国研広報チームのこと」「来年の岡山開催の視察も兼ねてなら……」との思いと同時に、「放課後児童支援員資格をこれから取得する、指導員経験2年ほどの私が行ってもいいのかな……」との思いもよぎりましたが、それ以上に「行ってみたい！」との気持ちが勝り、それを言葉にした自分がいました。全国研当日、会場に到着すると、見るもの・聞くものすべてが新鮮で、学生の頃から「保育に携わる仕事をしたい」と思っていた私は「喜び」と「感動」で胸がいっぱいになりました。第58回全国研の2日間は私にとって、これからの「学童保育生活」の大きなターニングポイントになると思います。それほどまでに今回、第58回全国研への会場参加は、私にとって、とても大きな影響を与えてくれた2日間になりました。

なかでも、全体会での福本かおりさんの特別報告には、強い感銘を受けました。最後に福本さんが微笑みながら話された「学童保育サイコー」の言葉に、「いろんなことがありながらも、やっぱり学童保育・指導員って楽しく、やりがいを感じられる仕事なのだろうな」と思いましたし、私も福本さんが約10年の間に感じた「学童保育サイコー」を感じられるようになれたらいいなと思いました。

第59回全国研は、私の地元である岡山県にて、2024年11月16日・17日に開催されます。岡山県での全国研をよりよいものにするために、第58回全国研には岡山から数十名が会場参加し、さまざまに視察を重ねました。岡山メンバーは、非常に気合いが入っています！岡山県は自然が豊かで空気もおいしいですし、食べ物もおいしいものがたくさん！観光名所も盛りだくさんです。「岡山、行ったことあるよ」という方はもう一度、「まだないな……」という方はぜひ！第59回全国研を機にお越しください。2024年、岡山の地でたくさん学びあいましょう。

「来年 岡山で待ちよーるけん 絶対に岡山に来られ～よ!!」

全国各地からたくさんの方に参加いただきました！

全国より**4045名**



参加申し込みに向けて、地域での活発なお声かけにご協力いただきありがとうございました！

## 全国研の感想が届きました！ パート2

 三多摩連協メンバーから、2024年の開催地となる岡山へのメッセージです

- ◆「視察」に若い方がたくさん来られていたので少しうらやましい気がしました。11年ぶりの岡山開催、楽しみにしています。
- ◆倉敷、大好きです！
- ◆地元岡山の皆さんを全国で支え、コロナ禍以前にも増して盛大、有意義な第59回全国研となるよう、また、その開催、成功に向けて力を結集して、運動の発展につながるよう、お互いがんばっていきましょう!!
- ◆つぎはどんな全国研か楽しみです。
- ◆地元らしさを感じられる開催を楽しみにしています！
- ◆私の「全国研への初参加」が第48回全国研in岡山でした。とても楽しみです。
- ◆前回（第48回）、岡山に行けなかったため、今回は行きます。楽しみにしています!!
- ◆参加者同士が自然にふれあえる、思わず言葉を交わしあえるような集会になりますように。



 会場開催「第17分科会 今日の子どもの問題を考える」に参加して

栗原美雪（石川県津幡町・町連協職員）

子どもを語ることは私たちの社会を語ること—子ども、そして社会の変化にとまどうことが多いなかで、「いま=現実」を学び、その視点から子どものことを考えたいという思いで参加しました。

不登校が増加している背景や、「学校スタンダード」が強まる仕組み、SNSと子どもの関係性、現代の子どもたちの指向など、様々な方向から「子どもたちのいま」をとらえる講義で、なかでも「安心と夢中」「依存とは違う解放をさぐる」「子どもは幸せの扉をたたいている」という講師の松田洋介先生の言葉がとくに印象に残りました。大人の一人として、子どもに向きあう心の持ち方を学べたことは、とても意義深く、「参加してよかった」と心から思いました。

松田先生の軽快で、時折笑いが起きる講義の雰囲気がとてもよかった！ これまでは『Zoom』を通じて一人で座って聞いて……がつづいていましたが、隣の人とちょっと話しあう時間を挟んでいただいたり、つぎつぎと活発に質問が出される場面を直に見て、「会場の皆で一緒に考えあっていること」を肌で感じました。やっぱり「リアル」はいいです。





## 語りあい、学びを深めあうひとときを共に過ごして



内海洋子（神奈川県平塚市・指導員）  
今回は会場開催の分科会「第2分科会◎学童保育の生活づくりと食」の世話人を担当しました。気軽にどこからでも参加できるオンライン開催のよさはもちろんありますが、やっぱり会場開催はいい。参加者との距離が近く、表情や笑い声、熱量などで分かりあえる濃さが違うなあ〜と、今回とても実感しています。参加者の皆さんも、「語りあえるときを待っていたなあ〜」とばかりに、「手づくりのおやつの魅力」「学童保育におやつは必要？」「おすすめ昼食・おやつメニュー」「衛生管理について」などを語りあっていました。

休憩時間も、近くの人同士で語りあい。連絡先を交換しあって特産物を送りあおうと相談したり、「この辺に来たら食べたいほうがいいものってなんですか？」「高座豚かなあ〜、でもどこで？ やっぱり、『崎陽軒』のシューマイかなあ〜」などと話がはずみます。そして終わった後の余韻を語りあうのもいいですね。おいしいお酒も飲みちゃいます。

オンラインの手軽さはもちろん大きいのですが、直接語りあい、この距離の近さで交流が深まる部分は大きいなあ〜。そしてなにより世話人としては、もう一人の世話人がすぐ隣にいることの安心感は大きかったです。来年も岡山に行きたいなあ〜。

## はじめて会場参加しました！

松下日向子（神奈川県横須賀市・指導員）

はじめて会場で研修を受けてみて、まず最初に、全国各地の学童保育の指導員、保護者たちが一堂に集まるとこんなにもにぎやかになるんだと圧倒されました。今回、私は二回目の全国研参加。初回はコロナ禍の影響でオンライン開催だったのですが、今回は、それでは味わえない「一体感」を肌で感じました。



一日目の全体会のオープニングでは、各地の学童保育の催し物や雰囲気映像をとおして感じましたし、特別報告では、被災した地域の学童保育に関わる職員の方や、現役の保護者の方のお話を聞いて、「私ももっとがんばんなきゃ」と勇気づけられたり……。そして記念講演は、「子どもたちが過ごしやすいクラブとはなんだろう」とふり返るととてもいい機会になりました。

二日目、私は「第17分科会 今日の子どもの問題を考える」に参加しました。いまの子どもたちをとりまく問題（不登校、ネットリテラシー、セクシャリティーなど）について、講師の松田洋介先生の講義を聞きながら、私が勤務している学童保育に在籍している子どもたちの様子を思い浮かべ、照らしあわせていました。子どもたちがこれらのことに関わってこまっていたり、悩んでいるとき、私たち指導員はどう関わっていったらいいのか、自分のなかでじっくりと考えることのできるとても有意義な分科会でした。

二日間、私にとってはじめての会場参加は、とても有意義で、またこうやって参加したいと思うほどすてきな時間でした。また、来年も参加したいです。

## 広報チーム、今後むけて

廣川和美（愛知県豊川市・保護者）

第58回全国研は、会場からの話題がたくさん入ってきましたし、全体会での映像もリアル感が増し、私は愛知の事務所から「行きたかったな」と思いながら参加していました。

第57回にひきつづき、今回の全国研でも、広報チームの活動に参加させていただきました。広報チームの皆さんとチームとなって活動ができたこと、そして「全国研のファン」の1人として、このような形で全国研に関わることができて、すごく楽しく過ごせました。



あいちには、「全国研プロジェクトチーム」があって、仲間にもめぐまれ、地元での広報活動も楽しく進めることができました。仲間に本当に感謝です！「来年は、会場開催の分科会を全部受け持とうよ！」。そんなことも思わず口にしてしまいました。

私のように保護者OBが学童保育に関わりつづけることを、よく不思議がられます。これはやはり、人と人のつながりに楽しさを感じ、共にワクワクしたりできる、そんな感覚があるからこそ、継続して学童保育に関わったり、全国研のお手伝いをしたり……につながるのだなと思います。

これから、現役保護者の仲間をどんどん増やしながら、一緒に「楽しい！」を共有できたらいいなと思いました。



## 充実した学びの時間を過ごしました！



戸國直子（岡山県美作市・指導員）

コロナ禍以降、学校での子どもたちの様子がわかりにくくなっていったこともあり、現状を知りたく、午前中は「第21分科会 子どもの発達と学力」に参加しました。講師の馬場久志先生のお話より、子どもたちが時間・空間ともに過密な学校生活をおくっていることをあらためて認識しました。

だからこそ、学童保育での遊びや異年齢の関係などからの学びを、子どもたちも社会も必要としていることがよくわかりました。

また、午後からは、「第24分科会 学童期の子どもと食」で学びました。講師の平本福子先生が言われるように、「おやつ時間」は人と人をつなぐ関係づくりの場であること、また、それを各地でさまざまな方法で実践されている学童保育の関係者のお話も聞いて、知識とリアルの両面を知ることができ、学びが深まりました。

オンラインでの参加でしたが、どちらも質問時間を確保し、学びながら感じた疑問にもていねいに対応してくださり、集中して分科会に取り組みました。ありがとうございました。

## 大きな学びの機会になりました！

福本朱凜（高知県安芸市・学生アルバイト）

今回、はじめて全国研に参加し、いままで聞いたことのないようなお話をたくさん聞くことができ、学びの多い時間となりました。全体会での全国各地の学童保育の子どもたちのダンスなどに、オンラインでの参加でありながらも、会場にいるかのような臨場感を感じられ、楽しく視聴させていただきました。特別報告では、指導員の立場からだけでなく、保護者の方の視点からのお話も聞くことができたので、これまで知らなかった「保護者さん目線」で学童保育について知ることができ、有意義な時間であったと感じます。

分科会にもはじめて参加し、学童保育についてイチから学ぶことができたので、自分のなかでも大きな学びになったと思っています。今回は、オンラインを通じての参加でしたが、さまざまなお話を聞くことができたので、参加できてよかったと感じています。

来年は、岡山での開催とのこと。ぜひ現地で参加し、より多くのことを学びたいと思っています。ありがとうございました。





共に集い、交流を深めあった全国研—来年は岡山で会いましょう！



戸塚丈夫（第58回全国学童保育研究集会・実行委員長）  
4年ぶりの会場開催とオンライン開催で実施した第58回全国学童保育研究集会は、皆様のご尽力のもと、大成功に終わりました。この3年間、集会といえば日常生活に浸透したオンライン開催がメインでしたが、会場開催を再開できたことで、あらためて「多くのことを五感で感じとれること」を実感しました。

会場参加された皆様、いかがでしたでしょうか。久しぶりの会場開催の全国研を楽しんでいただけたでしょうか。全国各地から集まった仲間と交流を深められたでしょうか。

また、オンラインだからこそそのオープニングを行うことで、オンラインを通じて参加された多くの方々も、全国研の雰囲気を感じられる集会になったと思います。いかがだったでしょうか。

第58回全国研の参加者数は約4,000名。会場参加された方は約500名でした。参加された皆様は、きっと探していたなにかが見つかったはず。机上での学びはもちろん、人と人がふれあうことで感じられるあたたかい気持ちも学びの一つだったのだと思います。

来年は、岡山県で第59回全国研が開催されます。皆さまの笑顔と再会できる日がいまから楽しみです。ぜひ、岡山でお会いしましょう。感謝。



「来年秋、第59回全国学童保育研究集会でお会いしましょう！」

第59回全国研開催日は  
**2024年11月16日(土)**  
**11月17日(日)**

開催地は、**岡山県**です。  
ぜひ、ご予約ください。



 全国研広報チームより

「つながろう！！全国研」広報チームニュースはNo.10まで発行ができました。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

全国研特設  
ホームページ



●第58回全国学童保育研究集会についてのお問い合わせ先【集会事務局】

TEL : 03-3813-0477 (10時～17時。土日祝日休業)

Email d58zkk@xrh.biglobe.ne.jp

HP <http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou/zenkokuken/d58/>